

Burnout Study of Clinical Nurses in Vietnam : Development of Job Burnout Model Based on Leiter and Maslach's Theory

| | |
|---------------------------------|---|
| 著者 | グエン ティ トゥ フォン |
| 著者別表示 | Nguyen Thi Thu Huong |
| journal or publication title | 博士論文要旨Abstractおよび要約Outline |
| 学位授与番号 | 13301甲第4796号 |
| 学位名 | 博士（保健学） |
| 学位授与年月日 | 2018-09-26 |
| URL | http://hdl.handle.net/2297/00053142 |

doi: <https://doi.org/10.1016/j.anr.2018.01.003>



平成30年8月22日

博士論文審査結果報告書

報告番号

学籍番号 1529022033

氏名 Huong Thi Thu Nguyen

論文審査員

主査(教授) 中谷 壽男

副査(教授) 大桑 麻由美

副査(教授) 加藤 真由美



論文題名 Burnout Study of Clinical Nurses in Vietnam: Development of Job Burnout Model Based on Leiter and Maslach's Theory (ベトナムの臨床看護師を対象としたバーンアウト研究: Leiter と Maslach 理論に基づくバーンアウト因果関係モデルの構築)
論文審査結果

【論文内容の要旨】

研究目的は、MBI-General Survey (MBI-GS) と Areas of Worklife Scale (AWS) のベトナム語翻訳版を作成し信頼性・妥当性を検討すること、ベトナムの臨床看護師を対象としてバーンアウトレベルを査定すること、最終的にバーンアウト因果モデルを構築することであった。金沢大学医学倫理審査委員会から承認を得て実施した(承認番号: 649-1)。データは無記名構成的質問紙から収集した。対象者は、ベトナムの HaiPhong 市内にある3つの公立病院に勤務する500人の臨床看護師であった。翻訳版 MBI と AWS は、探索的因子分析(最尤法、プロマックス回転)による因子的妥当性と Cronbach α 係数による信頼性を検討した。重回帰分析により、バーンアウトの予測変数を選定した。因果モデルは、Leiter と Maslach により提唱されているモデルを理論的基盤に Path 解析により構築した。回収数は443部(回収率: 88.6%)であり、有効回答数は430部であった。対象者の平均年齢は 31.64 ± 6.72 歳、平均勤務年数は 8.60 ± 6.48 年であった。翻訳版 MBI-GS と AWS の因子構造は再現されており、Cronbach α 係数は 0.7-0.9 であり、信頼性・妥当性を概ね確認した。看護師の 0.7% が重度バーンアウト、15.8% がバーンアウト、17.2% が疲弊状態にあった。夜勤(ベトナムでは24時間勤務を意味する)がバーンアウトの最大予測変数であった。因果関係モデルのモデル適合度 ($X^2=58.47$, $p<.001$; $GFI=0.96$; $GFI=0.97$; $RMSEA=0.08$; $AIC=120.46$) は良好であったが、理論モデルと比較すると類似性とともに変数のつながりに違いが認められた。

【審査結果の要旨】

看護師のバーンアウトは世界的な問題である。ベトナム語版 MBI-GS と AWS を作成したことは意義の高いことであり、バーンアウトの解決につながる因果関係モデルの構築は独創的である。公開審査会では質疑応答を適切に答えていた。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士(保健学)の学位を授与するに値すると評価する。